

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果 ー分析から見てきた成果・課題と今後の取組についてー

区 名	鶴見区
学 校 名	大阪市立みどり小学校
学校長名	森 健

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立みどり小学校では、第6学年99名

令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

〔国語〕

国語の平均正答率は67ポイントであった。全国平均正答率65.6ポイントから1.4ポイント、大阪市の平均正答率64ポイントから3ポイント上回る結果となった。一方で、正答率分布は低位層、中位層、高位層の3極化を示す分布となっており、正答率50%辺りと正答率75～85%の分布の落込みが大きい。

〔算数〕

算数の平均正答率は64ポイントであった。全国平均正答率63.2ポイントから0.8ポイント、大阪市の平均正答率63ポイントから1ポイント上回る結果となった。正答率別の分布は全国および大阪府の分布曲線に近い正規分布となった。

〔理科〕

理科の平均正答率は66ポイントであった。全国平均正答率63.3ポイントから2.7ポイント、大阪市の平均正答率60ポイントから6ポイント上回る良好な結果となった。正答率別の分布では、正答率25～50%の低位中位層において全国および大阪府の分布よりも低い分布状況となり、また、55～80%の中位高位層において全国および大阪府の分布を上回る分布となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

解答率別の分布状況は、国語科についてはこれまでのような低位層・中位層・高位層の三極化となったが、算数科、理科については正答率8割付近を分布の頂点とする正規分布となった。正答率別の分布状況は、概ね全国平均の分布曲線に沿って分布している。これまで進めてきた低位層の学力向上の取り組みの結果が徐々に学力低位層の学力の底上げが進んでいると考えられる。

各教科の正答率を学習指導要領の内容や領域や区分ごとに見ると、何れかの内容・領域・区分において大きく落ち込むことはなく、ほぼ全ての内容・領域・区分において全国平均を上回る正答率となっており、各教科においてバランスよく学習内容が身につけているものと考えられる。

平均無回答率は国語、算数、理科のいずれにおいても全国平均を下回る値となっている。昨年度調査では、国語、算数ともに全国平均よりも高い値となっていたが、今年度調査において大きく改善されており、児童の学習意欲の育成が進んでいることがうかがえる。

質問紙調査より

- 「自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対して肯定的な回答をしている児童の割合は82.3%と、全国平均大阪市平均を上回る結果となった。また、「将来の夢や目標をもっていますか」の質問に対して肯定的な回答をしている児童の割合は80.3%、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に対して肯定的な回答をしている児童の割合は97.9%と高い回答がえられている。
- まだまだ肯定的回答の割合を伸ばしていく必要はあるが、多くの児童がしっかりと自らと向き合い、希望をもって意欲的に学びに取り組んでいる様子がうかがえる。
- 自主的な学習の姿勢を問う質問（質問20）については、肯定的な回答の割合は低い。また、家庭学習の時間を問う質問（質問21）では、1時間以上の時間帯での回答割合が全国平均を下回るなど、全体的に家庭学習の時間が少ない傾向をしめしている。読書時間を問う質問（質問23）では、30分以上の時間帯での回答割合が少ない。新聞を読んでいる児童の割合（質問25）も少ない。

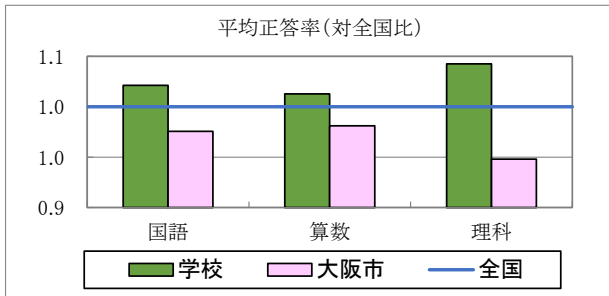
今後の取組(アクションプラン)

- これまでの低位層の学力向上の取り組みを継続するとともに、中位層の学力伸長に取り組み、分布の頂点が8割5分となるよう、また、分布状況全体が高解答率方向へとスライドするよう学力向上の取り組みを進める。
- 学習習慣の確立、家庭学習の充実を図り、基礎学力の確かな定着と学習意欲の向上を進めていく。
→ 自主学習ノートの活用を進める。 → 読書習慣を形成していく。
- 4年生以上の学年で実施している理科の専科制の学習指導は大きな効果が認められる。今後も、専門性の高い教員による理科専科制授業を実施していく。
- 習熟度別少人数指導の展開とデジタルドリルの活用により、個別最適化された学習を提供し、→ 基礎学力の確かな定着および学力の伸長を図っていく。

【 全体の概要 】

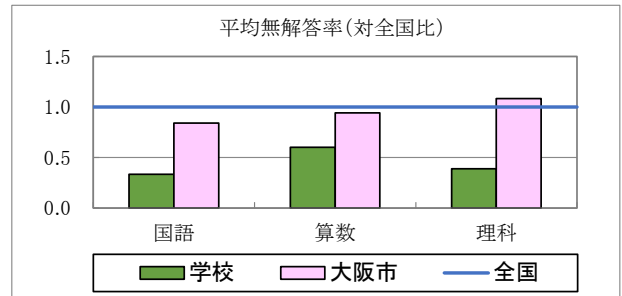
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	67.0	64.0	66.0
大阪市	64.0	62.0	60.0
全国	65.6	63.2	63.3



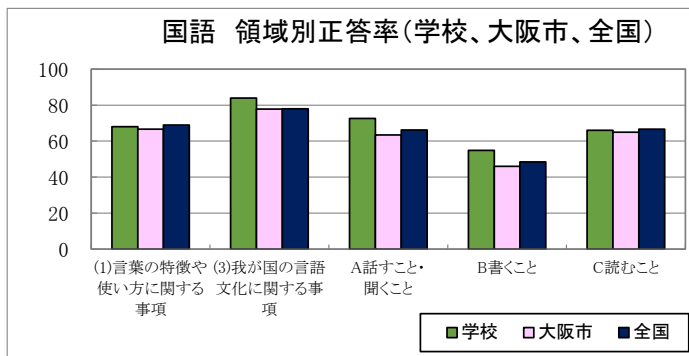
平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	1.9	2.1	1.4
大阪市	4.8	3.3	3.9
全国	5.7	3.5	3.6



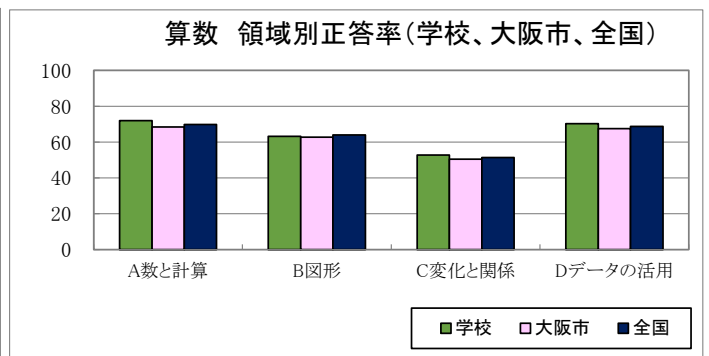
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	5	68.0	66.7	69.0
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語 文化に関する事項	1	83.9	77.8	77.9
A 話すこと・聞くこと	2	72.6	63.4	66.2
B 書くこと	2	54.8	46.0	48.5
C 読むこと	4	66.1	65.0	66.6

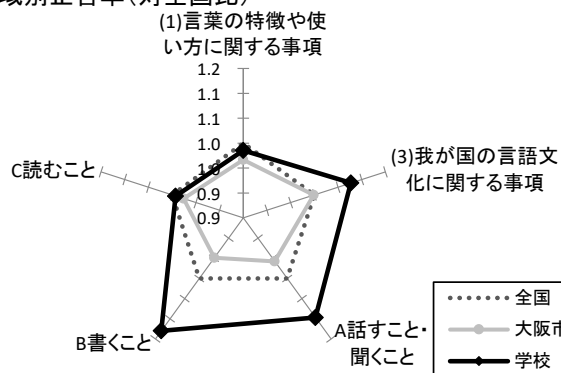


【 算 数 】

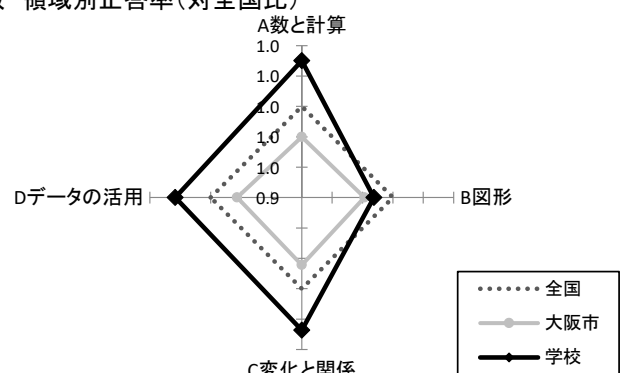
学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	71.9	68.4	69.8
B 図形	4	63.2	62.8	64.0
C 測定	0			
C 変化と関係	4	52.7	50.5	51.3
D データの活用	3	70.3	67.5	68.7



国語 領域別正答率(対全国比)

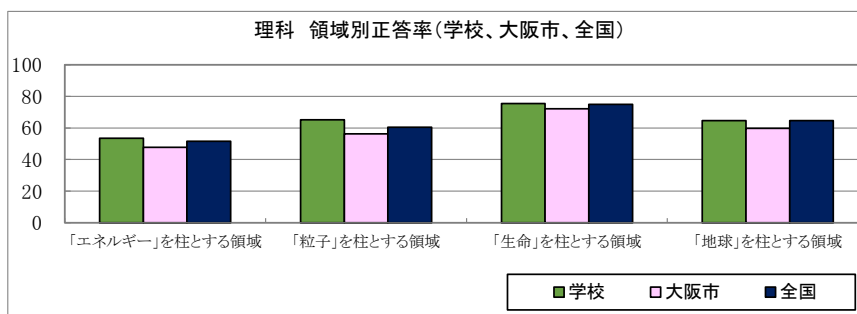


算数 領域別正答率(対全国比)

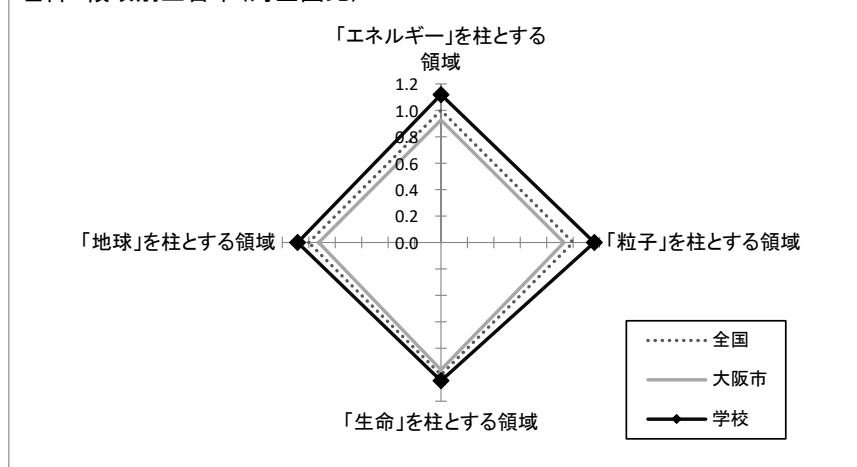


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	53.5	47.8	51.6
	「粒子」を 柱とする領域	5	65.2	56.2	60.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	5	75.5	72.2	75.0
	「地球」を 柱とする領域	5	64.7	59.7	64.6



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問紙より

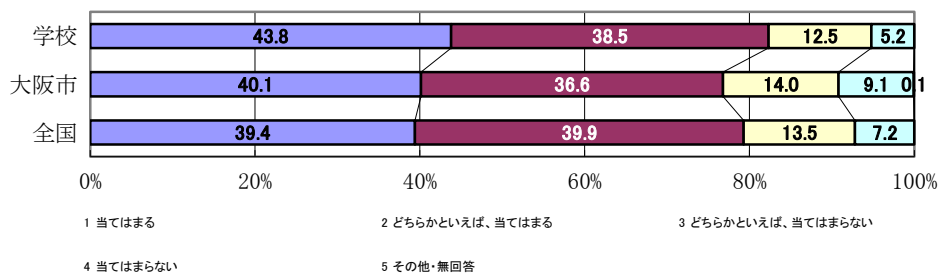
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

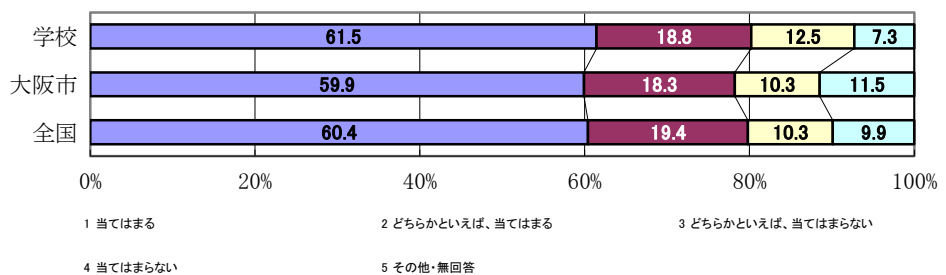
7

自分には、よいところがあると思いますか



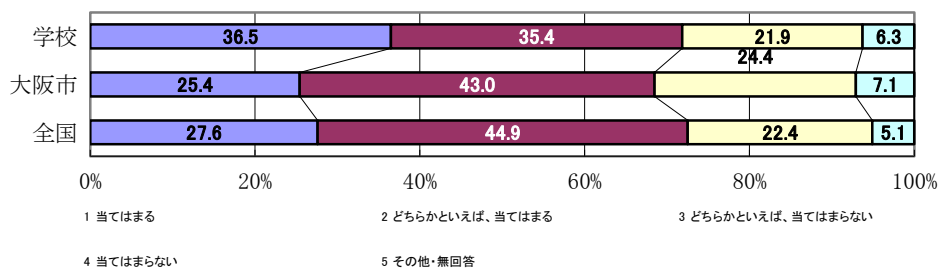
9

将来の夢や目標を持っていますか



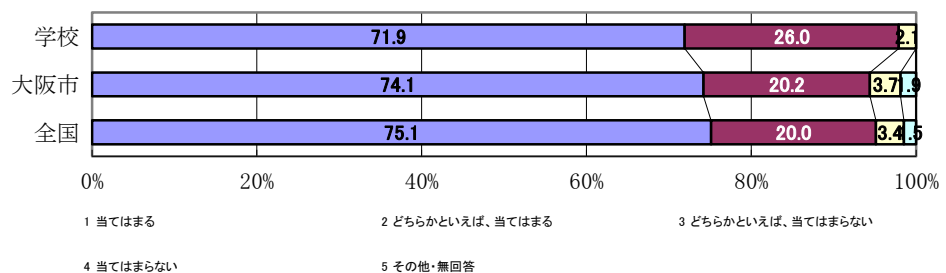
11

難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか



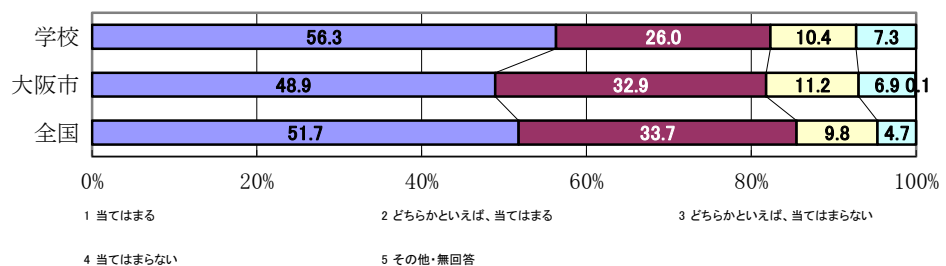
15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



16

学校に行くのは楽しいと思いますか



児童質問紙より

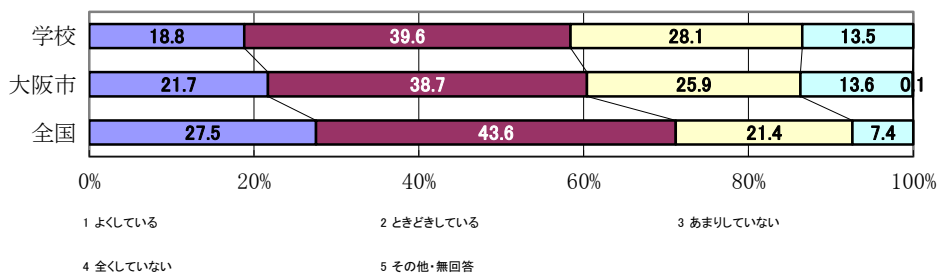
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

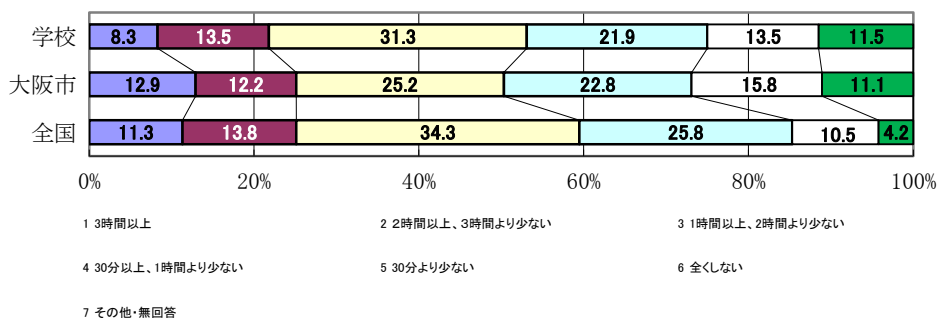
20

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)



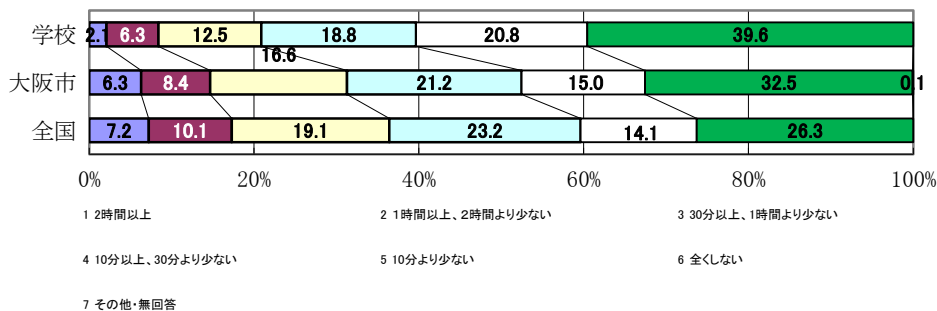
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



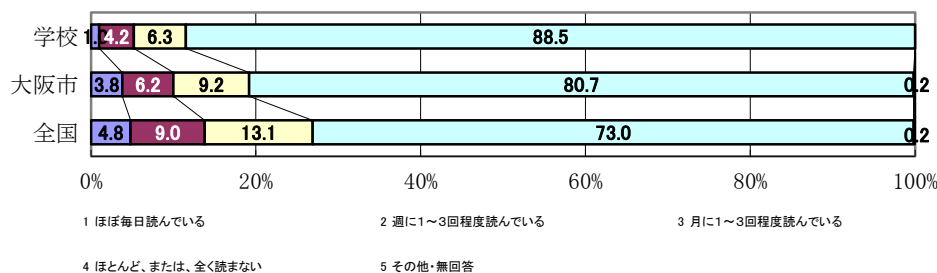
23

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



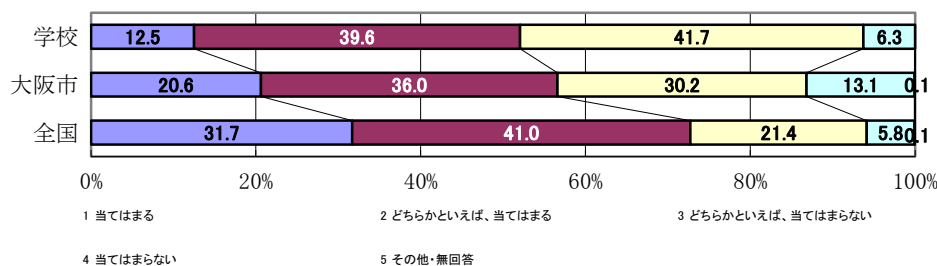
25

新聞を読んでいますか



45

総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



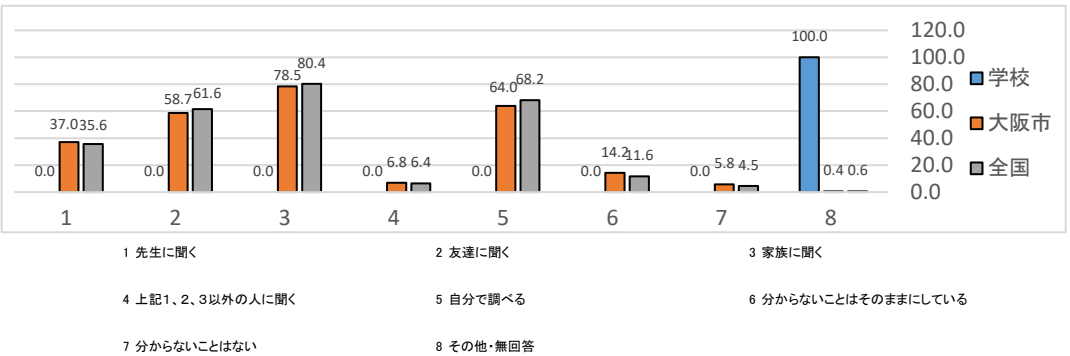
児童質問紙より

質問番号

質問事項

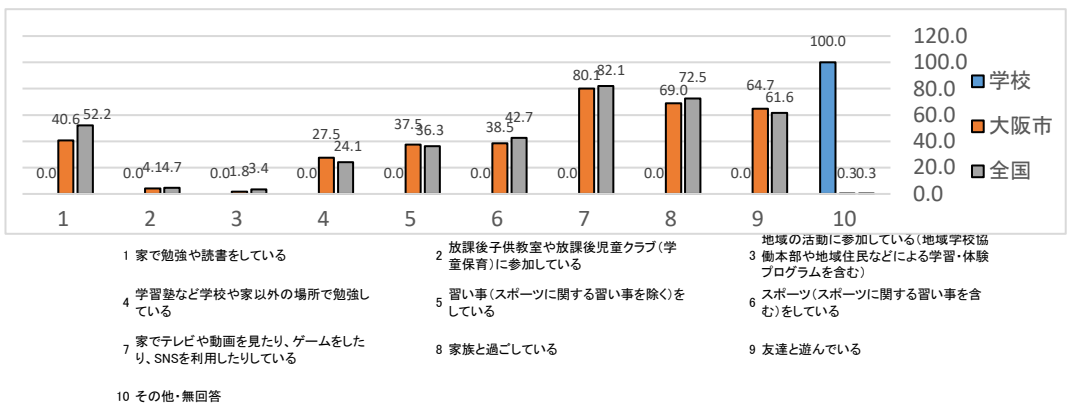
19

家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか(複数選択)



31

放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか(複数選択)



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

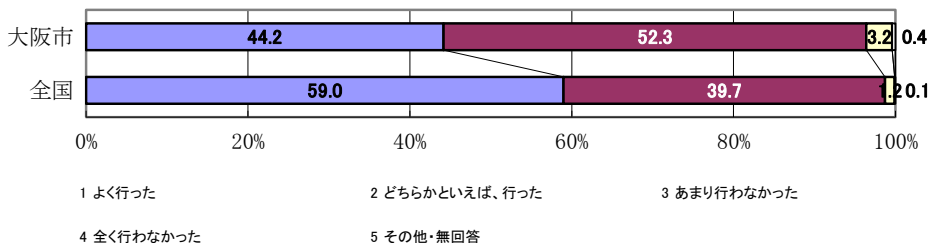
質問番号

質問事項

10

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか

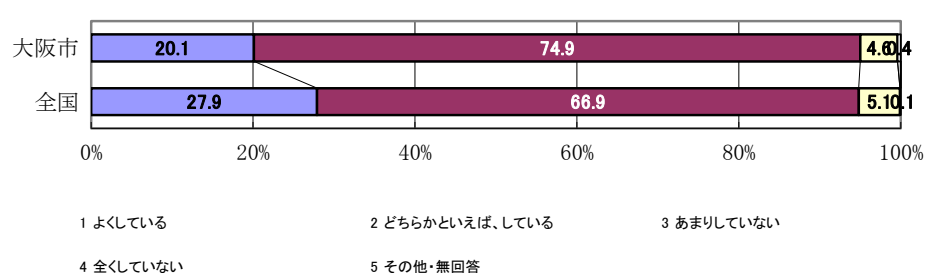
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



16

指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか

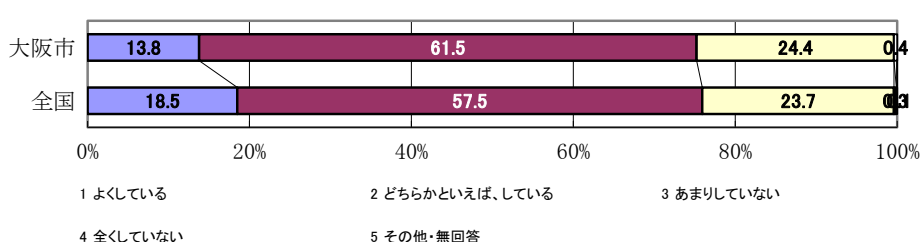
学校 「どちらかといえば、している」を選択



21

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

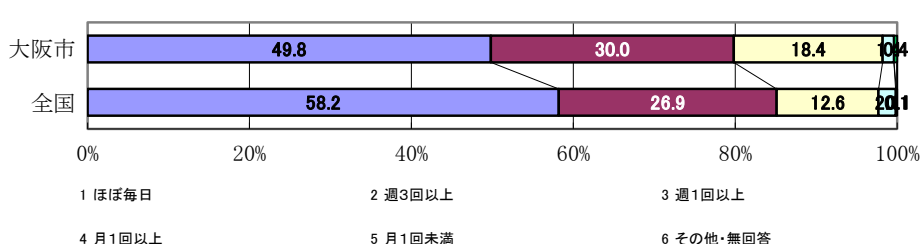
学校 「どちらかといえば、している」を選択



59

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか

学校 「週3回以上」を選択



74

保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか

学校 「参加している」を選択

